

おかなみ

広報誌
第41号

社会医療法人 畿内会 岡波総合病院
平成29年1月発行

あらたな時代の病院の役割

理事長/院長 猪木 達

わからないことだらけ

心臓血管外科 医長 山本 芳央

第2おかなみより

あらたな時代の 病院の役割

理事長／院長 猪木 達

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

これから医療・介護が迎えるますます厳しい時代に向け、当法人の職員は意識の変革が必要となると考えています。病院はこれまでの病気を「治す」という場所から、地域住民の生活や人生を「支える」という場所が変わってきました。多くの方が、病気と共存しながら地域で生活し続けていくという「生活者」となり、われわれが提供する医療・介護サービスもその「生活者」の生活や人生を支えるためにどのように貢献できるか、という視点がより重要となります。

当然かつての「患者さんと医療者」の関係から、より対等な立場で双方向に話し合えるものにも変わることも必要となります。昨年度より始めた「おかなみ出前講座」では、職員が病院を飛び出して行って地域の皆さんと同じ目線で話し合ったり、今までは聞きにくかった病気のこと、健康のこと、治療のことへの疑問を気軽にぶつけていただく場としての効果を発揮し始めています。徐々に地域へ浸透しつつあり、今年度は3月までに50回超の講座を開く予定となっています。病院の中で起こる問題、自分たちの職種のことをもっとたくさんの人に理解してもらいたい、そんな多くの専門職たちの思いから始めた事業でもあります。「出前講座」を通じて、病院をかつての敷居の高いイメージから、もっともっと身近で信頼し合える存在に変えていってほしいとも思っています。

また病院を訪れる方から信頼される風土づくりも大切です。今日も職員のほうから率先して皆さんにあいさつ・会釈を行っていましたか？あいさつは、ただの声出しという作業ではありません。病院という施設は、駅などのように不特定多数の人々が行き交う場所ではありません。病院を訪れる方々は、患者さんもそのご家族も、面会者も取引業者さんも、それぞれの目的があって当院を訪れています。つまり当院で働く職員は、直接的にも間接的にも病院を訪れる方々となんらかの関わりがあります。患者さんを介して、また職員のさらに職員を介して、すべての職員は来訪者となんらかの「つながり」を有しているのです。そんな来訪者の方々を無視するのは以ての外で、相手の存在をしっかりと認め、その意思表示をするために、あいさつや会釈が大切なのです。その「つながり」は信頼への第一歩であると思っています。

いま当法人では、すべての職種が集結したサービス向上委員会という組織でさまざまな議論を行っていますが、その議論は、患者さんからの声や要望からスタートさせます。物理的な制約や限界がある中で、どうすれば患者さんを「支える」ことにつながるか、どうすることが患者さんとの信頼関係向上につながるか、ということを実際に考え、皆で模索しています。これからの時代の病院が地域の中で新たな役割も担っていくなかで、この議論に期待を込め、先導していきたいと思っています。

● 岡波総合病院の理念 ●

人々の健康と幸せのために、『人間としての愛』の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

● 岡波総合病院の基本方針 ●

1. 私達は、「至誠・注意・満足」の院是の基に、患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
1. 私達は、医療水準の日々向上をめざし、高度適正な医療を実践いたします。
1. 私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
1. 私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

● 患者様の権利 ●

1. 患者様は、だれでも良質な医療を公平に受けることができます。
1. 患者様は、病気・検査・治療などについて理解しやすい言葉や方法で十分な説明と情報をうけることができます。
1. 患者様は、十分な説明と情報提供を基に治療方法などを自らの意思で選択することができます。また別の医師の意見を求めることもできます。
1. 患者様は、自分の診療記録の開示を所定の手続きを経て求めることができます。
1. 患者様は、個人の情報やプライバシーについて保護されます。
1. 患者様は、健全で良質な医療水準を確保するため医療サービスについて提言することができます。

わからないことだらけ

心臓血管外科 医長 山本 芳央



皆様あけましておめでとうございます。

皆さんはどのように新年を迎えられたでしょうか。大勢でカウントダウンをされた方、ご家族皆さんで新年を迎えられた方、お一人で新年を迎えられた方、御病気のため病院においでの方、様々な方がおられると思います。私は以前、大晦日は病院で当直することが多く救急治療室や当直室で新年を迎えることがしばしばでした。最近では緊急手術でもない限りは自宅で迎えられるようになりました。どのような形で新年を迎えられたにしても、今年一年が皆様にとって幸せな年になりますようにお祈り申し上げます。

幸せということについて書かせていただきますと、少し前にこんな論文が発表されていました。オーストラリアの大学の研究者がランセットという一流の雑誌に掲載した研究です。幸せと長寿に関係があるかどうか72万人の女性において関連性を調べたものです。一般的に考えると幸せな方が長生きしそうな気もしますし、病気にならなければ幸せであろうがなかろうが寿命に影響しないような気もします。論文の結論から言いますと、本人が幸福と思っているか不幸と思っているか寿命には影響がないということのようです。ただし、逆に不健康だと不幸と感じるという関係性はあるようです。やはり健康でいることは大切だということになりますね。ただ、こんな簡単なことでもまだわかっていなかったのが発表されているわけですから世の中まだまだわからないことだらけです。

一方、私たちが専門にしている治療でも新たにわかることがあります。腹部大動脈瘤手術に関する最近の研究です。腹部大動脈瘤には現在二つの手術方法があります。一つは以前から行われている開腹手術で病気の血管を人工血管に置き換えるもの、もう一つは血管の中から人工血管を滑り込ませて血管を内側から治してしまうものです。治療の危険性はどちらも大きく変わらないことはわかっていまし

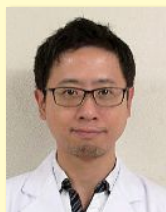
たが、おなかを切らなくて済むので患者さんは血管内治療を好む傾向にありました。ところが、最近発表されたところによると術後5-6年目くらいはどちらも差はありませんでしたが、術後8年目からは開腹手術の方が生存率は高かったようです。当院では手術を乗り越える体力のある方には開腹手術をおすすめしていますので問題ありませんが、新しい治療法には時間が経たないとわからないことが必ずついて来ます。テレビなどのマスコミでは切らずに病気が治るなどと簡単に取り上げますが、それだけを信じると結果的に良くないことがありますので注意が必要です。

私たち岡波病院の医療スタッフは、このような新しい研究成果も常に学習し患者様に最も良いと思われる治療を最も安全に提供できるよう日々努力しています。わからないことが多い中でも、わかっていることを積み重ねてその人に一番いい治療ができるよう心がけています。心配なことがありましたら気軽に相談していただき、治療法を一緒に考えさせていただければと思います。私たちの知識や技術が皆さんの健康に少しでもお役に立てられれば幸いです。

長い文章に最後までお付き合いいただきありがとうございました。

新任医師の紹介

平成28年10月1日採用



放射線科

ひだか しょうじろう

日高 正二郎 医師

専門領域：放射線診断学、血管内治療
取得資格：放射線診断専門医

CT、MRIを中心とした画像診断
全般と主に腹部IVRを行っています。
ます。よろしくお願ひします。

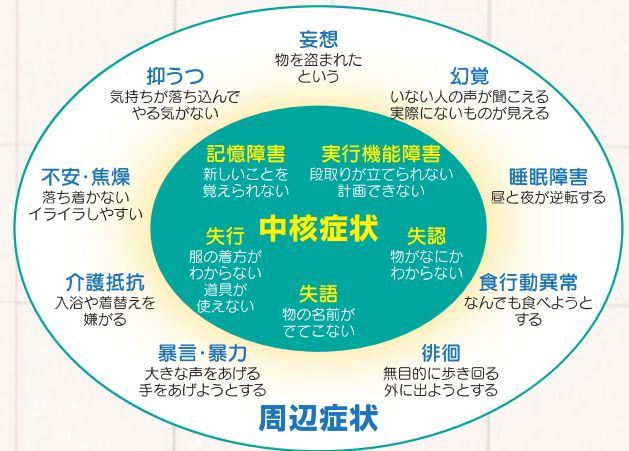
第2おかなみより



認知症とは、加齢とは別に脳内に異常な変化が起こることです。認知症によって、認知機能(記憶、知識、言語、理解、思考、注意、見当識、計算、判断など)のどこかが障害されます。いくつかの症状(中核症状、周辺症状とあります(図参照))が現れますが、症状に対してその対応が大切です。

一番悪いのは失敗を責めて叱ったり、怒ったりすることです。何度も同じことを聞かされた話でも初めて聞くつもりで聞き、何度もたずねられた事でも初めて答えているように接することが基本です。高度の認知症では何を言っているのかわからなくなり言葉によるコミュニケーションが難しくなります。その場合は同じ言葉を繰り返して説明するのではなく違う言葉にいい換えてみます。また、「部屋の隅に人がいる」などの幻覚を訴える時は「ほんとね」とか「いるわね」と口裏を合わせるのはいい接し方とは言えません。「そう、どんな人がいるの?」、「でも、今はいないみたい」などと話しかけていきます。

自分の持ち物を置いたところを忘れてたり、大切な物をどこかにしまい込んだかわからなくなることは私たちでもあります。認知症の方は通帳や財布を自分としては片づけているつもりが、どこに置いたかわからなくなってしまふことが頻繁に起こります。



ほかに食事をしたことを忘れてしまう、盗み食いをする、何を言っているのかわからないとき、配偶者や家族を認識できなくなったとき、自分の家でないので帰るといざしたとき、夜に家の中を歩き回ったり、ゴソゴソ動いて困る、一人で出歩き、迷子になる、突然興奮したり大声で叫んだり、暴力行為に及ぶとき、トイレがうまく使えない等への良い対応は、紙面の関係で全て述べられませんが、機会があれば悪い対応も含めて話をさせていただきたいです。

介護老人保健施設第2おかなみ
施設長 榎田慎一

第2おかなみでは...



第2おかなみでは、ご利用者の方やスタッフが「認知症」についての正しい知識を得られるように施設内の階段に認知症ケアの情報コーナーを設けています。(写真①②)

毎年4回、内容を更新していて今回は、具体的なシーンを用いて対処法について紹介しています。いつも手を止め、足を止めたくさんの方に読んでいただいています。資料を持ち帰って下さるご家族の方もいらっしゃいますよ。(写真③④⑤⑥)

地域全体が「認知症」について正しく理解すれば、地域としてのサポートも充実していきますね。
言語聴覚士 久保澄江



医薬品副作用被害 救済制度をご存知ですか？

薬局長 吉川 香

【医薬品副作用被害救済制度】とは

病院・診療所で処方された医薬品、薬局などで購入した医薬品、又は再生医療等製品(医薬品等)を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による入院治療が必要な程度の疾病や日常生活が著しく制限される程度の障害などの健康被害について救済給付を行う制度です。

医薬品等の使用目的・方法が適正でなかった場合等や抗がん剤などの対象除外医薬品による健康被害の場合等、救済給付の対象にならない場合もあります。

医薬品副作用被害救済制度とは、医薬品等により健康被害を受けられた方を迅速に救済するための独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度です。

人の健康や生命を守るために欠かせないもの、それが医薬品や医療機器です。これらの医薬品などは、その有効性と同時に安全性が確保されていなければなりません。しかし、十分な注意を払って正しく使用していたとしても、副作用の発生を完全に防ぐことはたいへんむずかしいとされています。

【救済給付の請求】は

給付の請求は、副作用によって重篤な健康被害を受けた本人またはその遺族が直接、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)に対して行います。

救済制度相談窓口

- 【電話番号】 0120-149-931
- 【受付時間】 [月～金]9時～17時
(祝日・年末年始を除く)
- 【Eメール】 kyufu@pmda.go.jp
- 【URL】 <http://www.pmda.go.jp>

リハビリ通信

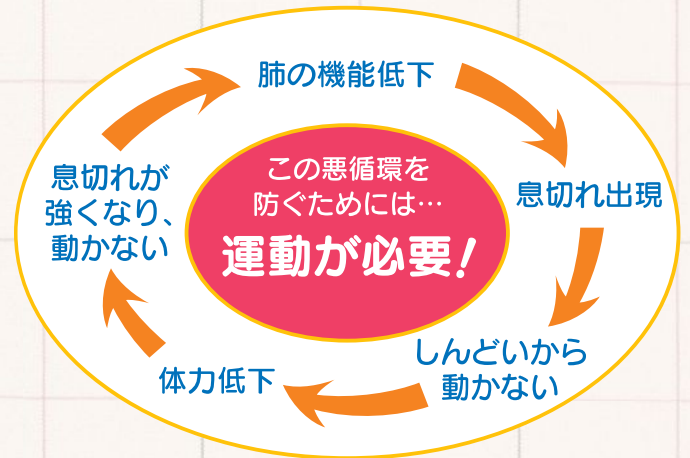
呼吸リハビリと 日常生活での運動の 大切さ

介護老人保健施設おかなみ
作業療法士 窪田 萌

呼吸リハビリには、リラクゼーションや呼吸練習、呼吸筋トレーニング、胸郭可動域練習、運動療法等があります。その中で今回は、運動療法がなぜ大切なのかをお話します。

なぜ運動が大切なのか？それは、慢性呼吸器疾患の患者様の多くは、息切れにより日常生活で動かないことが多くなり、さらに、足腰が弱ってしまう事が多くみられるからです。そして、足腰が弱ることで、今まで行えていた生活が徐々にできなくなってしまふ恐れも出てくるのです。

ちなみに、呼吸器疾患以外の高齢者の方も、呼吸障害予防のために運動を行うことは大切なことです。



- ☆毎日続けることで、より日常の生活が楽になります！
- ☆運動を続けるには、楽しむことが大切です！
- ☆運動の種類や時間、強さ、頻度をご自身の
お体の状態に合わせて行いましょう！
- ☆わかりやすい目標を立てると効果的です！



- ★食べた直後や寝る前の運動はやめましょう。
- ★いつもの症状と変わりがないか確認しましょう。
→体調が悪い時や熱がある時、足が普段より
むくんでいる時は医師や看護師に相談しましょう。
- ★労作時酸素処方がある人は、指定された
量で吸入しましょう。
- ★主治医の指示通り運動しましょう。



“地域医療の未来”がやってきた!

～上野高校1年生22名が来院「上高みらい学」～



県立上野高校では、今年度より地域をささえる人々の熱い思いに触れ、伊賀地域の価値への気づきや誇りにつながる学習の機会、その名も「地域貢献夢プログラム」を開始されたそうです。

地域のさまざまな分野へ飛び出して行って、それぞれのプロたちの生の声を聞いたり、課題についてディスカッションされています。10/26には医療分野に興味のある22名が当院へ来てくれました。

ポイント

事前学習の中で調べた「地域医療の問題」をグループにわかれて医療者と議論



専門の道に進むうえで大学と専門学校ではどんな違いがあるんですか?



外国人医療の問題についてこの病院ではどんな風に対応しているんですか?



この地域の災害医療にとても関心があります。



この地域はお医者さんや看護師が少ない、とても厳しい地域なんですよ?

ポイント

普段は目にすることができない手術室の中や医療機器を見学



ポイント

当院手作りの医療ドラマ「医療現場で奮闘する職種たち」をみんなで鑑賞



11月14日は世界糖尿病デー 3回目となる

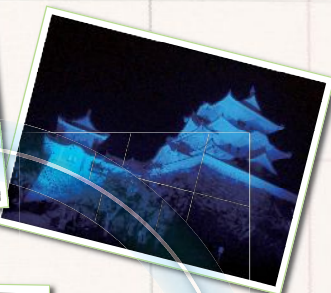
「ブルーリングの集い」

を開催しました! N3病棟看護師 水村 美伯

今年度は、訪問看護ステーションおかなみ西出所長より自宅で行う糖尿病療養生活の工夫について講演いただきました。血糖測定の方法や食品表示のカロリーや糖質、塩分の見方、どのような食品を選ぶことで糖質が抑えられるかなどクイズを用いて実際に、食品の選択について一緒に考えました。さらに管理栄養士からの話を聞くことでより深く学ぶことができたのではないかと感じました。

理学療法士、看護師による“糖尿病と運動”では、実際に運動を体験していただきました。ここでは、自宅テレビを見ながら、イスに座ったままでもできる、効果的な体操を紹介しました。みなさん体操中は、となりの人と楽しく笑顔でお話をしながら取り組んでおられました。これから、楽しみの一つとして体操を普段の生活に取り入れられればいいですね。

糖尿病デーのシンボルマークは、「ブルーサークル」。どこまでも続く空の「ブルー」と団結を表す「輪」の意味があります。糖尿病と闘う患者さんのため院内のさまざまな職種が団結して、サポートにあたらなくてはなりません。私もおもに脳卒中看護に携わるなかで、早期に他職種と連携して、糖尿病患者さんやご家族のサポートに貢献できるよう、今後も努めていきたいと思ひます。



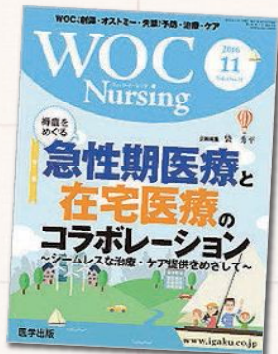
医学出版 書籍

(ウオック・ナーシング)

WOC Nursingに 森川薬剤師が掲載されました。

WOC Nursing(ウオック・ナーシング) 2016年11月号の特集「褥瘡をめぐる急性期医療と在宅医療のコラボレーション」に当院薬剤部の森川拓薬剤師が病院薬剤師の立場から執筆しました。

最近でこそ、中核病院が主催する地域の病診連携の会などが増えてきましたが、まだ病院と在宅との敷居がなくなくなったわけではありません。そこで、薬剤師の視点で病院と在宅との「つなぎめ」についての問題に、どのように取り組んできたかを紹介しています。



2016年11月17日

伊賀薬剤師会研修会で 講師を務めました

薬剤部 森 拓

対象

伊賀・名張地域の調剤薬局や
ドラッグストアに勤務する薬剤師

テーマ

「症例から学ぶ褥瘡治療への関わり方」



内容は講義だけでなく、褥瘡の症例に対しどのような塗り薬を提案しアプローチするか、実際の褥瘡処置の現場でどのような物品(医療材料・衛生材料)が在宅で必要かを、ワークショップ形式でクイズを導入しながら楽しく学びました。

褥瘡対策&NST委員会 褥瘡に役立つ豆知識



第9回 伊賀・名張地区 褥瘡勉強会が行われました!



E館3階病棟
北村 和媛

平成28年9月15日に当院の講堂にて、第9回伊賀・名張地区褥瘡勉強会が行われ、褥瘡委員として参加しました。今回のテーマは、参加者からの要望が多かった「褥瘡治療薬(当院森川薬剤師より)」と「多職種連携(当院三村看護師より)」についてです。



講演内容は実際の使用例を交えながらの説明であったので、創の観察の仕方や薬の使用方法について、どのような状況で使用したらいいのかとても参考になりました。薬剤の効果

がわかっていても実際の患者様の状況によ

ては、処置が変わってくるので実例を交えた講義は今後活かせるので良かったです。

伊賀・名張地域の施設・訪問看護ステーションからの参加者も多く、実施後のアンケートでは実践に活かせる講演で満足できる内容であったという声を多く聞くことができました。

今後も地域間での交流、勉強会を通して褥瘡予防、ケアについて多くの人に取り組めるように、褥瘡委員会活動に励んでいきたいと思ひます。



おかなみ 出前講座

社会医療法人畿内会 岡波総合病院
地域医療連携室
Tel:0595-21-3154 (直通)
Fax:0595-21-3145 (直通)

お問い合わせは
こちらまで
ご連絡ください。



平成28年
9月8日 はつらつ教室OB会様



テーマ
認知症について
講師
老人看護専門看護師
市川 智子

平成28年
9月12日 伊賀市霧生中央エプロンサロン様



テーマ
**寝たきりにならない
ための基礎知識**
講師
作業療法士 山内 雅之

平成28年
9月13日 上野田端町いきいきサロン様



テーマ
減塩食の工夫
講師
管理栄養士
川中 歩美、岩瀬 真実

平成28年
9月15日 上野商工会議所様



テーマ
減塩食の工夫
講師
管理栄養士
川中 歩美、澤江 真紀

平成28年
9月16日 山出いきいきサロン“あじさい”様



テーマ
脳卒中予防について
講師
脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師
東雲 洋美

平成28年
9月21日 川東いきいき教室様



テーマ
腰の体操
講師
理学療法士
竹内 亮介、清水 恒良

平成28年
9月30日 ハーモニーハウス伊賀大山田様



テーマ
**摂食嚥下障害に
ついて**
講師
言語聴覚士 西口 江美

平成28年
10月1日 諏訪社会福祉会サロン寿の会様



テーマ
**生活習慣病予防:
病気になりにくい体をつくりましょう**
講師
心臓血管外科医師
神原 篤志

平成28年
10月5日 月ヶ瀬公民館様



テーマ
**高血圧と
脳卒中の関係性**
講師
理学療法士
田中 千晴、清水 晃司

平成28年
10月13日 いきいきサロン白藤会様



テーマ
**認知症に
ならないために**
講師
老人看護専門看護師
市川 智子

平成28年
10月14日 如月会様



テーマ
がん予防
講師
がん看護専門看護師
中 澁子

平成28年
11月2日 ゆめが丘鶴寿園様



テーマ
**インフルエンザ・
ノロウイルスについて**
講師
感染管理者 村田 幸

平成28年
11月4日 新堂にこここOB会様



テーマ
**バランスよく
食事をしましょう**
講師
管理栄養士
久米 明美、藤島 知穂

平成28年
11月9日 特別養護老人ホームぬくもり園様



テーマ
**家族が認知症に
なった時に**
講師
老人看護専門看護師
市川 智子

平成28年
11月9日 いがまち老人クラブ連合会様



テーマ
**デイサービス・
ショートステイのはなし**
講師
介護支援専門員
川口 泉

平成28年
11月14日 小杉にこここ教室様



テーマ
**認知症に
ならないために**
講師
老人看護専門看護師
市川 智子

平成28年
11月21日 ほがらかクラブ(川西老人会)様



テーマ
**いつまでも元気に
生活するために**
講師
老人看護専門看護師
市川 智子

平成28年
11月22日 ゆめが丘鶴寿園様



テーマ
**インフルエンザ・
ノロウイルスについて**
講師
感染管理者 村田 幸



院内保育所なみつこルーム なみつこだより

大好きだった水遊びが終わりましたが、戸外へ行く機会が増え公園に行ったりお散歩に行ったりたくさん身体を動かしながら戸外活動を楽しんでいます。

9月は敬老会・祖父母参観があり、おじいちゃんやおばあちゃんとの触れ合いを楽しみ成長を見て頂きました。老健のおじいちゃん達には歌やダンス・絵を「長生きしてね」と願いこめてプレゼントしました。10月には「ハロウィン」をしました。ミッキー・ミニーに仮装し病院の周りを歩き、リハビリ科まで行きお菓子をもらいました。毎年の恒例行事となりましたが「かわいい・かわいい」と絶賛でお子様達も嬉しそうでした。9月・10月は触れ合いの多い月となりました。



平成29年度 学生募集 社会医療法人 畿内会 岡波看護専門学校

本校は、看護師という専門職業人をめざす3年課程の専門学校です。歴史と伝統を受け継いで、“楽しい看護のはじまり”を合言葉に看護教育を実践しています。看護学校でのすべての経験が“楽しい看護”へとつながります。

☆少人数制

1学年20人定員で一人一人に合わせた学習支援が受けられます。学生の持てる力を発揮できる体験ができ、個性が輝きます。

☆経験から学びを引き出す教育技法

「わかる喜び」「できる楽しさ」がもてる授業を行っています。臨床判断力が身につく経験型実習を行っています。教材やモデルの充実により、臨床実践に近い状態で技術が学べます。

☆経済的支援

岡波総合病院からの奨学資金貸与制度があり、経済的な支援をしています。厚生労働省の専門実践教育訓練講座の指定を受けています。（*詳しくは厚生労働省のHPをご覧ください）

一般入試(第二回目)の日程

入学試験日	平成 29年 2月 18日(土)
願書受付期間 (締切日必着)	平成 29年 1月 27日(金)～ 平成 29年 2月 10日(金)
合格発表日	平成 29年 2月 24日(金)
試験科目	・基礎試験3教科 【国語総合(古文・漢文を除く)】 【数学Ⅰ】 / 【英語Ⅰ・Ⅱ】 ・面接
試験会場	社会医療法人 畿内会 岡波看護専門学校

*パンフレット、入学試験願書、その他受験資格など詳細については、ホームページをご覧ください。岡波看護専門学校に直接お問い合わせください。学校見学も随時受け付けております。

1年生戴帽式
(ナースキャップの重みを実感しました)



調べて考えて
看護がわかる授業



病院と連携しながら
実践しながらの看護体験が
できる実習です。



夜間実習で患者さんの
夜間の様子も観察します



自分が行った看護を
臨地実習指導者に
報告します。



波にまくん 淑子ちゃん

社会医療法人 畿内会 岡波看護専門学校
〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町 1734 番地
TEL&FAX 0595-21-3138
E-mail oka-ns@ict.ne.jp
URL http://okanami-kango.ac.jp/



スマートフォンサイト